

 学校だより

北門

【校訓】

誇りと責任

旭川市立北門中学校

NO. 1

平成28年4月28日

平成28年度のスタートにあって

校長 岡本明彦

入学式で156名の新1年生を迎え、その後年度当初の転入があり1年生157名、2年生153名、3年生193名の全校生徒数503名で平成28年度の北門中学校の教育活動がスタートしました。そこには、503名の思いや願いそして夢があり、その実現を目指して生徒一人一人を支え、各自がもっている良さをより一層伸ばして行きたいと思っております。

さて、今年度も校訓「誇りと責任」の基に『豊かな人間性を育て、輝かしい未来を築く、たくましい生徒の育成』の学校教育目標を目指して参ります。特に、次の4点を重点目標として掲げています。

- | | |
|----|------------------------------|
| 誇り | 1 自他を大切にし、豊かな人間性と社会性を身に付けた生徒 |
| | 2 文武両道に励み、心身ともに健やかでたくましい生徒 |
| 責任 | 3 自ら学び考え、適切な判断や問題解決が出来る生徒 |
| | 4 自分の成長を実感し、自己実現を目指す生徒 |

教育目標の達成に向け、本校教職員40名一丸となり頑張ってお参ります。

学校教育は家庭教育の基盤の上に成り立っております。さらに、学校と家庭地域のつながりがあればこそ、教育は最大の効果を生みます。温かさと厳しさをもった深い愛で本校の教育を支えていただきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

入学式や始業式のときに生徒には次のようなお話をしました。

「北門中学校は校長先生にとっても特別な学校です。旭川市の新採用教員として採用された当時から、北門中学校とは部活動のライバル校として何度も対戦をし、悔しい思いをさせられた思い出があります。」

「北門の強さは何だったのかと考えた時『私たちは北門だ』という生徒一人一人の誇り(プライド)だったような気がします。」

生徒には夢や目標を持つことの大切さについてもお話をしましたが、勝利への意志が目標設定にあることは言うまでもありません。

校舎を廻ってみますと、過去から現在に至る敢闘の歴史である優勝旗や楯、賞状が数多くあります。地域の文化を知り、地域貢献や社会貢献の大切さを学んだ様子も知ることができます。そして階段の踊り場や玄関スペースに温かい空間があります。地域の方々や保護者の皆様のご協力によるものです。

それら全てが北門中学校の財産であると思ひます。28年度のスタートにあたり、あらためて本校教育へのご理解とご協力・ご支援をお願い申し上げます。

◎入学おめでとう！

4月7日（木）、PTA会長 高木裕市様、旭星西地区市民委員会会長 松井 喬様、近文西地区市民委員会会長 中辻 透様、近文東地区市民委員会会長 貞弘安雄様を始め、北門中学校区の小学校の校長先生方、市内私立高校の先生方、小学校でお世話になった担任の先生方など15名のご来賓の方々のご臨席を賜り、第56回入学式が行われました。

157名の新入生が、真新しい制服を身につけ、緊張の面持ちで、北門中生としてのスタートを切りました。

入学式式辞で、岡本校長先生から、校訓「誇りと責任」を大切に、失敗を恐れず挑戦する気持ちを大切にして欲しいこと、相手の気持ちになって考えられる人、夢に向かって頑張る人になってほしいとの期待が述べられました。

来賓祝辞で、高木PTA会長様から、何事もあきらめずに努力して欲しいこと、悩んだり、落ち込んだり、逃げ出したくなったりしたときは、家族、先生、友達に悩みやうまくいかない思いを打ち明けてほしいという話をいただきました。

また、新入生の入学を祝い、生徒会長の川上香奈美さんが、困ったことやわからないことがあったら、先輩方に遠慮なく聞いて下さいと歓迎の言葉を述べました。

新1年生を代表し、松森スマレさんは、今まで人に頼っていたが、これからは、中学生として自分で考えて行動するように努力すること、明るく元気に友達を大切にして仲良く生活していくと決意を述べました。



◎よろしくお願ひします！

今年度の人事異動で、校長先生を始め7名の先生方が転出されましたが、4月1日付で新たに6名の先生方が転入しました。過日連絡いたしましたので、改めて掲載いたします。

今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

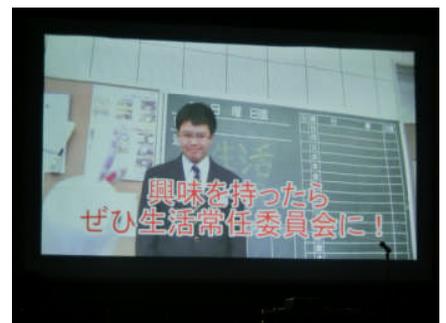
校 長	岡本 明彦(名寄市立名寄東中学校より)
再 任 用	中村 光良(旭川市立北門中学校)
1-2担任	本間 文子(旭川市立西神楽中学校より)
1-7B担任	橋本 舞(旭川市立春光台中学校より)
業 務 吏 員	石野 勝己(新規任用)
配 膳 員	笠井あつみ(旭川市立緑が丘中学校より)

◎部活動始まる！

入学式翌日の4月8日（火）に、対面式・オリエンテーションが行われました。最初に生徒会から、生徒会行事・生徒会活動についての説明が行われました。各委員長へのインタビュー映像により活動説明を行いました。

部活動紹介では、日常の練習の披露など、新入部員獲得に向けてアピールしました。

4月21日（木）には、部活動オリエンテーションが行われ、いよいよ1年生を含めた活動が本格的にスタートしまし



た。

本年度の部活動加入状況（4月20日現在）は、野球20名、男子バレー15名、女子バレー20名、バドミントン44名、男子バスケット24名、女子バスケット12名、テニス23名、卓球42名、サッカー46名、科学23名、家庭29名、吹奏楽39名、美術42名の計379名で、昨年より約20名の減ですが、参加率は75.4%と昨年同様の参加率となりました。



全道、全国大会に幾度となく出場経験のある北門中学校。その伝統の誇りとチームの一員としての責任、保護者を始め活動を支えてくれる人達への感謝の気持ちを大切に、日々の活動に頑張っていくことを期待しています。

◎参観日、PTA総会終わる

4月16日（土）に、本年度最初の参観日が行われました。担任の先生方の授業を参観いただきました。2、3年生は1クラスの数も多く、廊下から参観されている保護者の方もおられました。申し訳ございません。

休日でしたが、たくさんの方々にご来校いただきました。

授業参観後には、PTA総会が行われ、前年度の事業・会計決算報告、今年度の事業計画・会計予算案の発表、承認が行われました。

合わせて、役員改選が行われ、本年度の役員は以下のようになりました。

今後とも、PTA活動へのご協力をお願いいたします。

会 長	山本 卓
副会長	橋詰 優子, 赤坂美恵子, 伊藤 仁奈
会 計	塩ノ入里絵
監 査	鎌本かおり, 一条由紀子



◎交通安全集会！

自転車通学が、27日（水）から始まりました。部活動や総合的な学習の職場体験、中3の体験入学など、本校教育活動で自転車を利用する機会は多くあります。

北門中学校では、安全意識の高揚のため、自転車通学許可に向けて、個人の交通安全宣言（目標）、それをもとにした学級の交通安全宣言を考え、交通安全集会で発表し合い、校長先生に全員自転車通学の許可を得る方法をとっています。

4月15日の集会で、安全委員長 菅野さんの学校安全宣言発表後、各学級委員長より学級交通安全宣言が発表されました。

個人・学級の安全宣言は、教室前に掲示されています。来校時にご覧いただき、家庭でも話題としていただければと思います。



◎いじめ根絶に向けたメッセージ

北海道及び北海道教育委員会では、全国各地において発生した、いじめが背景に認められる又は疑われる児童生徒の自殺事案について、社会的に大きな関心が寄せられていることを踏まえ、北海道及び北海道教育委員会として、以下のようないじめ根絶に向けたメッセージを発表しました。

本校では、これまでもいじめの未然防止、早期発見・早期対応に取り組んできております。4月20日には本年度1回目のいじめアンケートを実施し、併せて個人毎にいじめ標語を考え、いじめ撲滅宣言として各学級の廊下壁面に掲載したところです。

今後とも保護者の皆様との連携を大切にしながら、取り組みを進めて参りますので、よろしく願いいたします。

「いじめをなくし、夢と希望が広がる未来を子供たちに」

夢と希望を胸に、新学期が始まりました。多くの出会いがあります。不安もありません。生活が変化する中、子供たちがいじめに苦しんだり、悩んだりすることなく、安心して学ぶことができる環境をつくるため、力を結集しましょう。いじめをしない、いじめをさせない、いじめを見逃さない、そして、いじめられている子供を守っていく。そのためのメッセージを送ります。

児童生徒の皆さんへ

- いじめは人間として絶対に許されないことです。自分がされて嫌だと感じることは、絶対にしない、させない気持ちをもみなで持ちましょう。
- いじめを見たり聞いたりしたときは、勇気を出して声をかけましょう。そして、いじめを止めるため、先生や周囲の大人にすぐに伝えてください。
- いじめられているときは一人で悩まずに友だちや先生、家族の方々に勇気を出して相談してください。

困っているときは、「子ども相談支援センター」に連絡してください。
フリーダイヤル 0120 388256（無料・24時間対応）

家族の方々、地域の方々へ

- いじめは人間としての尊厳を傷付ける卑劣な行為であり、絶対に許されないことを、子供たちにはしっかりと伝えてください。
- 子供たち一人一人が、かけがえのない存在です。いじめられている子供には、しっかりと寄り添い「絶対に守る」というあたたかい心を示してください。
- いざこざやけんかと思われるようなことでも、背景にはいじめが隠れている場合があります。地域ぐるみで子供たちを見守りましょう。いじめを見かけた場合には、直ちにいじめをやめさせ、学校や家庭に連絡してください。

教職員など教育関係者の皆さんへ

- 「いじめをしない、させない、見逃さない」学校づくりを目指し、教育活動全体を通じて、子供たちが互いに認め合い、課題を克服できる力を育てましょう。
- 子供たちと触れ合う機会を大切にして、子供のささいな変化・兆候であっても、いじめとの関連を常に考慮して、早い段階から関わりを持ち、見過ごすことなく、子供を絶対に守りましょう。

平成二十八年四月

北海道 知事 高橋 はるみ
北海道教育委員会教育長 柴田 達夫

